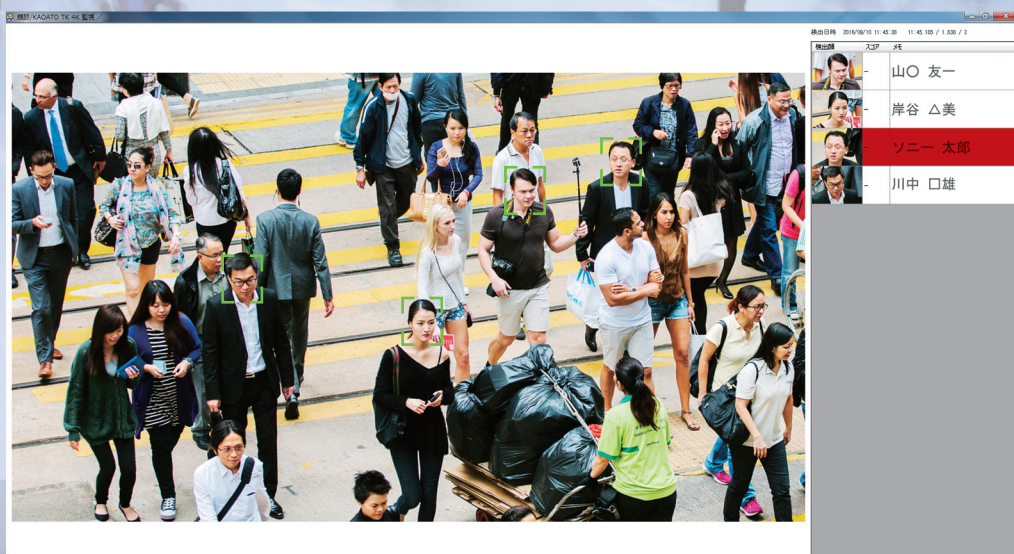


# SONY

## 低解像度対応顔認証ソリューション (広域監視用顔認証ソリューション)

広域撮影用の防犯カメラ映像を用い、  
映像内の個人認証を可能にする「低解像度対応顔認証ソリューション」



ネットワークカメラ/防犯・監視システムの  
ホームページをご覧ください

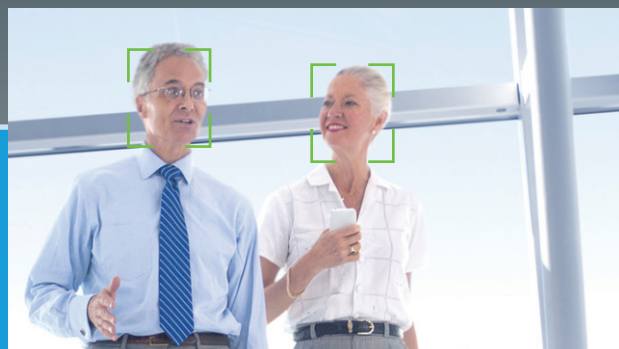
[sony.jp/snc/](https://sony.jp/snc/)

●掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません。

# 低解像度対応顔認証ソリューションとは

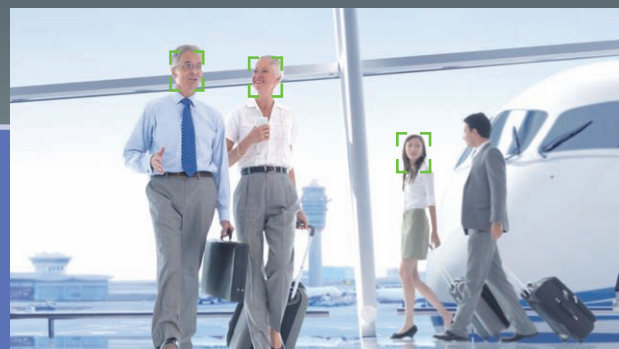
入場許可者と不許可者の区別や、専用ゲートにおける特定人物の発見を目的とする従来の顔認証ソリューションでは、99%以上の高い認識率が必要とされるため、人物の映像において目間（めかん）と呼ばれる目と目の間の距離で70ピクセルから100ピクセル程度の解像度が必要でした。そのため、顔画像による個人認証を行う場合には、会場の入場ゲートなどに専用のカメラを設置し、入場者に対して一人ずつ順番に撮影を行う必要があり、広域監視用として設置されている防犯カメラ映像の中から個人認証を行うことは困難でした。

ソニーの低解像度対応顔認証ソリューションは、通路やコンコース、広場、ロビーなどを撮影している防犯カメラ映像の中から、特定人物の候補者を探し出すことを目的としています。目間が従来の約半分程度しかない低解像度映像でも個人認証を実現できるため、通常の広域監視を目的として設置された防犯カメラ映像の中から個人認証を行うことができます。来場者に不快感を与えず、コストパフォーマンスにも優れた全く新しいコンセプトの顔認証ソリューションです。



## 従来の顔認証ソリューション

- 解像度：目間 70～100ピクセルが必要  
※撮影解像度がフルHD（1920ピクセル×1080ピクセルの場合）
- 入退ゲートなどに顔認証専用カメラを設置
- 主に許可者と不許可者の区別が目的



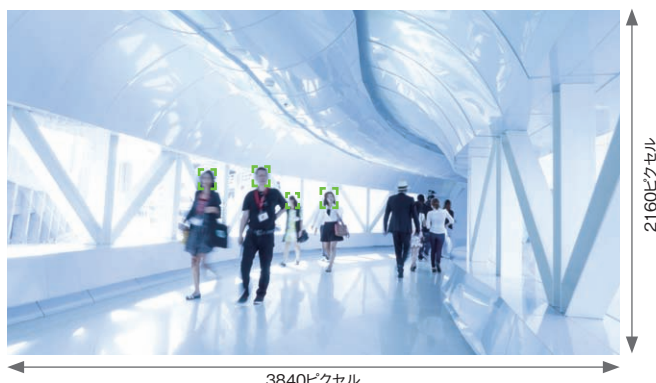
## 低解像度対応顔認証ソリューション

- 解像度：目間サイズは従来の約1/2以下  
※撮影解像度がフルHD（1920×1080ピクセルの場合）
- 広域監視用カメラと兼用
- 対象者の”候補”リストアップが目的

## 低解像度対応顔認証ソリューションと4K対応カメラの組み合わせ

地上デジタル放送の約4倍、アナログカメラとの比較では約27倍となる3840×2160ピクセルの圧倒的な解像度を持つ4K対応ネットワークカメラ。低解像度対応顔認証ソリューションは、この4K対応ネットワークカメラと組み合わせることでさらにその実力を発揮します。

例えば、幅10m以上のゲートや通路などでも4K対応カメラ1台でカバー、まさに広域監視映像の中から個人を探し出すことができます。



4K対応カメラでの顔認証イメージ：  
このような小さな顔画像でも個人認証ができる



通路での顔認証イメージ



幅10m程度のゲートや通路であれば  
4K対応カメラ1台でカバーできる



# 主な特長と機能

## 低解像度映像での顔認証が可能

従来の顔認証ソリューションに比べ、目間が約半分程度の低解像度映像でも個人認証を実現できるため、顔認証専用のカメラではなく、通常設置されている防犯用の監視カメラ映像を用いて個人認証を行うことができます。

## 1台のサーバーで 最大6台までのカメラに対応

1台の顔認証サーバーで最大6台までのカメラに対応できます。監視対象エリアの中から検知したい人物の候補者をピックアップするような使い方に適しています。また、対象エリアに設置された複数のカメラに対して顔認証を行うことで、エリア全体での捕捉率・認証率を向上します。

## かんたん顔登録機能

PC画面上に表示した静止画または動画から自動的に顔を探し出し登録する“かんたん顔登録機能”を搭載。

- PC画面上に表示した静止画または動画のうち、映像内の任意の場所をドラッグし、キャプチャーしたい範囲を指定します。
- 範囲を決定したのち、画像のキャプチャーを開始します。（動画の場合は取り込むフレームレートを指定できます。）
- オプションの“顔検出”を指定することにより、キャプチャーした画像から自動的に顔を検出します。
- 検出された顔映像に対して各種属性を設定することで顔登録が可能です。



# 主な用途

フーリガン対策や要注意者対策など、群衆や集団の中から候補者をピックアップするさまざまな用途にご利用いただけます。



スタジアム



公営競技場



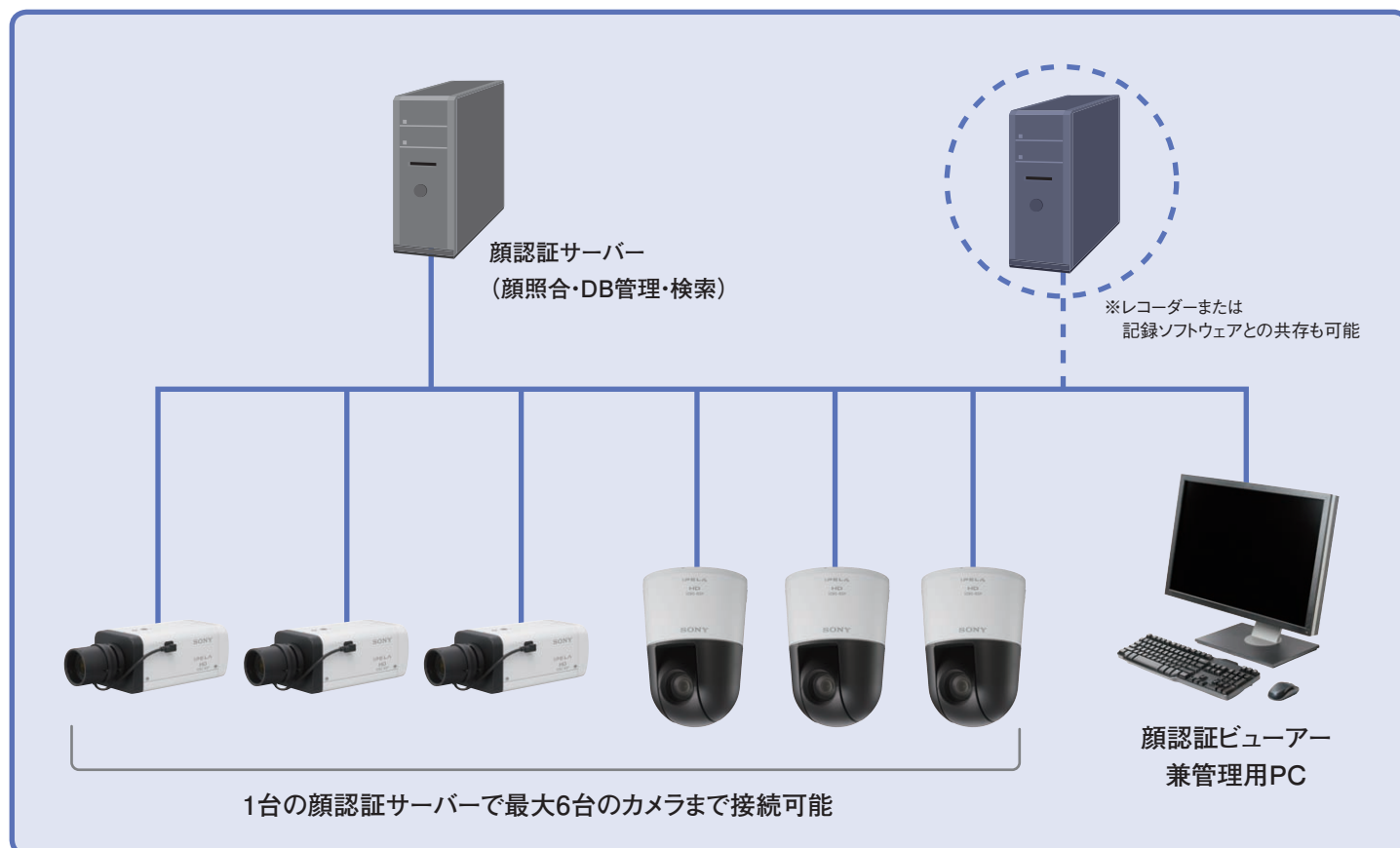
イベントホール・  
コンサートホール

フーリガン対策に

要注意者対策に

要注意者対策に

# システム構成例



## 価格

システム価格

400万円～ ※カメラ、ネットワーク機器、工事費、設置調整費などを含みません。

カメラで撮影をした、特定の個人を識別できる画像データは個人情報に該当します。個人情報の利用にあたっては、利用者自身の責任のもと、個人情報の保護に関する法律およびその他の法令、ならびに関係省庁のガイドラインに準拠のうえご利用ください。

**安全に関する注意** 商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

本ソリューションは日本電気株式会社の顔認証ソリューション「顔跡／KAOATO」をベースに、ソニービジネスソリューション株式会社独自のソフトウェアを追加して実現しています。

**商品使用上の注意** ●ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスできます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を開覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください ●ネットワークカメラへのアクセス権はユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません ●本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された製品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一なんらかの被害などが発生した場合でも弊社は責任を負いかねますのでご了承ください

**カタログ上の注意** ●仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります ●モニターの映像はハメコミ合成です ●GUIは開発時点のもので  
**商標について** ●SONYはソニー株式会社の商標です ●「顔跡／KAOATO」はNECソリューションイノベータ株式会社の商標です

ソニーウェブサイト

[sony.jp/pro/](http://sony.jp/pro/)

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用

※特定市場向け商品などソニーウェブサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1  
URL <http://www.sonybsc.com>

商品およびソリューションに関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

●FAX 0120-884-707

●受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2016.9

カタログ記載内容2016年9月現在